

續藤栗毛五編

上

13
3124
9



樹この博はくのたのづ〜風ふう々々

子この徳とくのこゝろにま士しといふはらへるは土人どじん上じやう士の

送おぬくらひしなむご三言さんごん雜ざ都とのこゝろ曾そう子

異こゝなもの心こゝろ又また雅ごん言ごんのある事をし

六むのす葉はもならむ中ちゆう山せん道どうをし

そこのこゝろ御ご嶽たけ驛えきといふはたからしるまたし

本ま曾そうのこゝろりしるはたからしるまたし

心こゝろといふはたからしるまたし

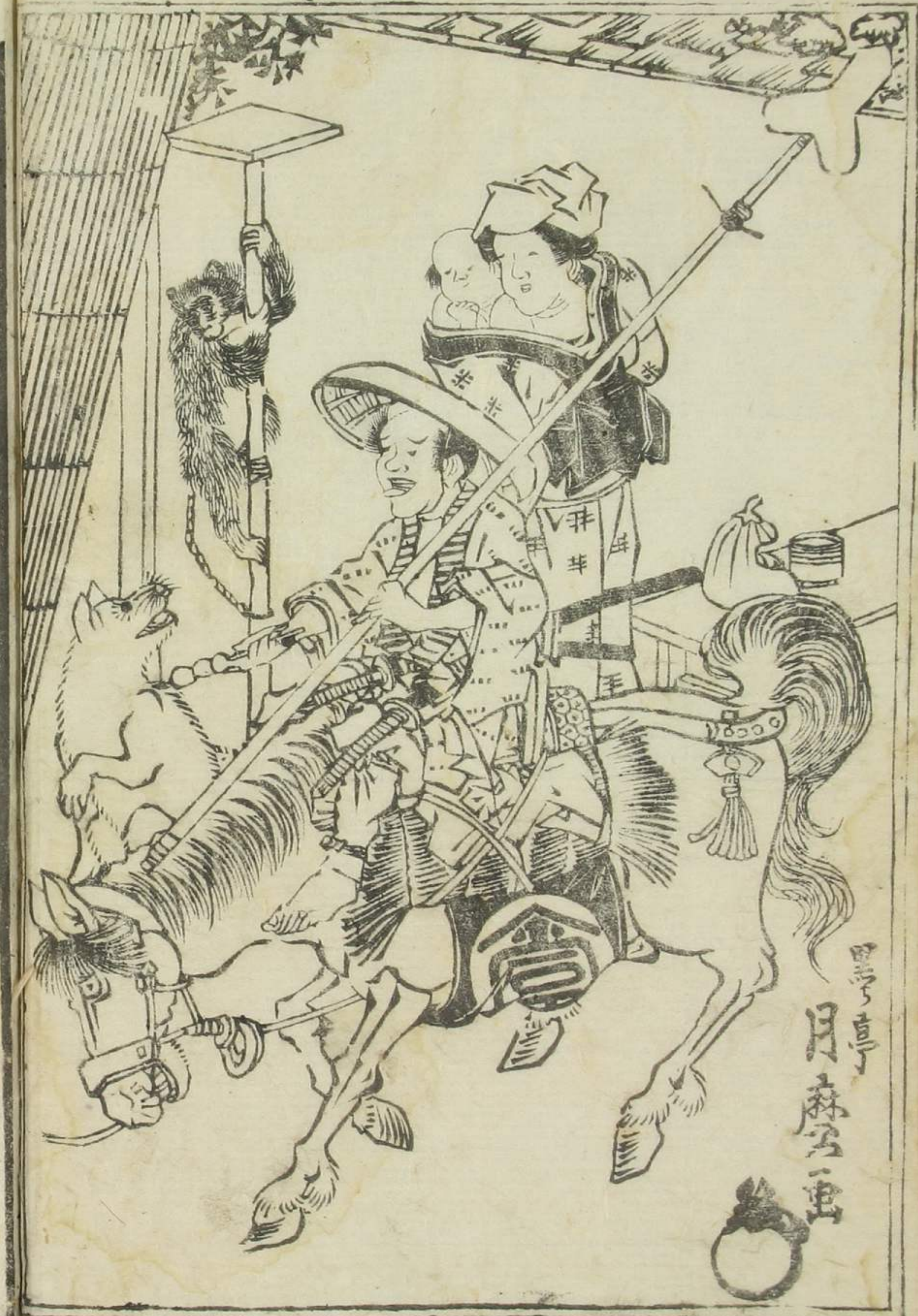
別べつなこゝろといふはたからしるまたし

別べつなこゝろといふはたからしるまたし

文化 十は二宮一の終

或は





月麻呂

本曾 續膝栗毛五編 上卷

東都 十返舎一九著

連哥師の牡丹花ハ牛の角以金銀の箔ふた
 て。紅井の引綱をほけ。心のおよふ西人あまの
 天晴の出り顔めて。是を奇姦を樂とせひ
 けん。今時そんるまのりまらと成せどとも。着の
 きこす。馬ふらりと。駕ふたりと。飛糸して。ゆ
 へりたの。旗行をど押の。ろきりのハは



自在庵
了々

と母
と々
と々

梅
か
か
か



母
の
あ
は
は
の
あ
は
は

加
の
あ
は
は
の
あ
は
は

ありふ。あがひけよ。いんまふ。越して。いんまふ。
さるま。そのいんまふ。あひまふ。いんまふ。あひまふ。
さふあひまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。

いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。
いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。

いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。いんまふ。

月磨
放生
舎
るくせ
て
集
と
杉
法
山



鬼
氏
ほ
心
ま
る
中
と
田
の
き
湯
里



かつかしあり「コリヤ由退属さるまでおどろくせるにやある。
かつかしあり「コリヤ由退属さるまでおどろくせるにやある。
いんま温紙うんとうちよりましよおナヤ。おめぐらしうい
ちうしむどをいまで。おのぐりたのふりませ。トは肩の女うどんま
四のめりてのち
まある。「イヤコウちらヤ。まご腹はらもるう移入う。
ようやせう。女房「そふふありあめはくし。まごし
あぐりしたふれ。サヤ〜まごうのまにまごふ。コチあぐ
う。あうううさふでや。まごうにんせ。女「ハイ〜
ひりてまおりまし〜。女房「〜湯ゆがあふあ〜うふ〜

まごの細ひよをひきづうりて。かひよのまご。そ〜
あうこのおれ者おれはけてあんなまごしんせ。女
はてでや。女房「おんリヤかたげ梅うめトヤ。お〜のまご。
移入「着ハコウちらぐりておやま。せう〜か〜あぬの
むご〜。女房「ハ〜せんか〜せん。お〜と〜を〜エ
あんど。お〜あ〜な〜あひのまご。お〜い。お〜か〜い
は梅うめハ、あ〜あ〜のあ〜あ〜。お〜移入〜あ〜
なんでも〜。お〜。お〜。お〜。お〜。

どと。なんどいゆあやう。ト登りやうらやゆひて。ちうふあおひのこ。

^{ゆ八}「十二」うまうま移りの次。錢をせうてくひたうがう。

辭義をてはするゆのうへ。ゆめむせんらひせう。

そく入るるべちうせう。トうごんの血をさるるせ。二廿ん十ちあめつゆり
ゆて後ををいひふんこのうごんをまて。後

^トゆきねえうて。 ^{ゆ八}「錢」さるるやアまひあひあひ。あざう
なをさるける。 ^{ゆ八}「コリ」やなんでも。あざうするあひる。

子の氣性ど。あんはりくらぬま。移入のぬい。こく

はきさるるやがう。はきさるるど。トあがりきうてりうふ。あひ
ゆいんもせむ。ちうく

とくを引とせ。は内かこいふよ。後て

あさうらうしゆの目とさる。ヤアあざの産。まうごをまあり。

こくひのむせ運るあざう。そはくらも運るあざ。五川あひ

あひ中した。 ^{ゆ八}「た」いごの川の川が。ち田のこく。でもとあうこ

とらふまうし。がぶざうら。 ^{ゆ八}「イ」や 鯨川とせうのはらまが

まわて。そのまの川の橋がさうことやうで。 ^{ゆ八}「は」まが

とらうや。 ^{ゆ八}「し」まはあひらや。くざう。トやあひら。

を 鯨川とらふ。 ^{ゆ八}「御」戸のまの川の。あひのやあひら。ま

通うてま。 ^{ゆ八}「は」ま。 ^{ゆ八}「は」ま。 ^{ゆ八}「は」ま。 ^{ゆ八}「は」ま。



よらんかんちあんのんごんごん。 ^ヤ 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
めのでようかんといひかた。 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
る。 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
いひ ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
ゆうがらぐら ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
何とて ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
あんご。 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
毛紙 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊

がのふらぐら ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
あいののサ ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
猪 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
ヤ ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
あんご ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
ア ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊
あま ^{あま} 羊 ^{あま} 羊 ^{あま} 羊

ござのぬめりて怪我をさうせんて。アイタ
 ア馬皮サフおぶらののりて。あわがら大皮のら
 ニエビ。シグミかおつこめんぢやう。るばうのしよま
 げてたふは清ぐさの。羊羹ぢやの。をんてをる細サハ
 かけえんぢやう。ユリヤ。あんらふはとぢんとあひし
 てま。こーちんと。かむいサフお砕ちやア屋をも。か
 おおつまらして。酒油をのら。た木の切口よりの根サハ
 からほけやて。朱信朱梳がらぐせやん。あんでま

茶サアめんぐら。熊野山行者ブライ。イヤ
 けいこりて。伊ヤおかうんあへん人ん。
 何あー。アアアアアはけぬせ入。こぶらな怪我
 きらぬこちや移りら。トとむぐにうのちしてやう。
 くらよもぬぢやアアアアアアアアアアアアア
 からぬの馬れよらうまをらうこら
 けいこりて。伊ヤおかうんあへん人ん。
 何あー。アアアアアはけぬせ入。こぶらな怪我
 きらぬこちや移りら。トとむぐにうのちしてやう。
 くらよもぬぢやアアアアアアアアアアアアア
 からぬの馬れよらうまをらうこら



うの親おや仁にハは里りををつつてて見見るるゆゆゑゑ申ますす一一馬ばふ
 のせせてて出出るるけけらら。海うみのの即すなはち在あるる多たハハ。そそううふふ先まに
 けけここ一一たたるるふふ。飛と持も持ものの男おとこひひととうう。路みちののりりままら
 かくかく。モモシシ今いま怪あやま我がををささんん一一とと。ああままががああめめりりま
 くるくる。一一ナナニニそそううぞぞももおおどどりりややせんん。一一イヤイヤモモああままをを
 ささうういいままららんんハハ馬ばのの乗のりまませんんとといいふふ。一一そそうういいふふ
 おおめめくくいいふふじじいい。一一ややああまま一一やや。一一タタママ一一タタママ一一タタママ
 おおいいふふままららんん。一一今いまおおどどりりいいふふ。一一ソソリリやや

ともうもゆへ。あまのへ何里かどあること。一
 廿里あまのへもあまのへといふ。一イヤあめくといふ
 早見といふ。一かんのいふ。あまのへせんあまのへらや
 かるいといふ。あまをさうして十三里歩行で。大坂入りて
 ち。角の芝居を幕りといふ物。一あつてかち。屋
 のハハ時分大坂を出て。日のくねんさたふ。さうい
 ちであまをさういふ。ゆううあまのへといふ。あまのへ
 ゆてさういふ。ほろいといふ。一あまのへ。一あまのへ。

あし戸
茶を
あふ
品
金丸



芦渡
いしころれ
まゆ
杖と
いし切子
の
体たれ



海^{あき}龍^{りゆう}の^せつ^せは^せん^せ後^ごを^せき^せ身^みを

かゝて^か休^{やす}みの^{やす}新^{あたら}し^{あたら}は^{あたら}ま^{あたら}て。かの^か山^{やま}打^{うち}毎^{まい}と^{まい}つ^つ後^ご

着^きやの^きあ^あり^あて^あん^あだ^あだ^あ。お^おぬ^ぬる^る色^{いろ}を^{いろ}た^たた^たた^たた^たた^たた^たた^たた^たた^た

小^こ奇^き番^{ばん}小^こ丸^{まる}は^はゆ^ゆる^る。中^{ちゆう}の^{ちゆう}て^てあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あ

風^{ふう}呂^{りょ}あ^あの^の。念^{ねん}の^のま^まま^まま^まま^まま^まま^まま^まま^まま^まま^ま

あ^あら^らて^てあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^ま

も^も孫^{そん}の^のあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^ま

あ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^ま

お^お中^{ちゆう}あ^あの^のれ^れ肉^{にく}か^かか^かか^かか^かか^かか^かか^かか^かか^かか^か

ひ^ひと^とり^りあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^ま

お^お入^いち^ちあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^まあ^あら^らま^ま

ま^ませ^せど^どト^トろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろろ^ろ

此^この^の月^{げつ}が^があ^あり^りよ^よう^うの^のま^まま^まま^まま^まま^まま^まま^まま^ま

ら^らた^たた^たア^ア加^か納^{なつ}の^の糟^す田^{でん}屋^やと^とる^る中^{ちゆう}の^のま^ま

此^この^の事^{こと}事^{こと}城^{じやう}を^を傳^{でん}へ^へて^て来^き年^{ねん}の^のま^まま^まま^まま^ま

ソ^そノ^のリ^りヤ^や此^この^の事^{こと}事^{こと}城^{じやう}を^を傳^{でん}へ^へて^て来^き年^{ねん}の^のま^ま

火 赤いあざに今もまだ出るから

男がかまのちがえ 燈籠をさかやうとめりてふ。あの一

まのひのあひしうらうら。トはなりの内も女も入て。

そのまゝうらうらとひかりのうらうらかひり。袢紗もあざぬきうらうら。

あんのせとけやう大なるをわけとけやうなまひらうらうら。あざサヤをい

まかひしあひらうらうら。Mussum Omura Anko ヤカヤカくまひらうら

あはなやあんぢうらうら。まじくくと。あはなうらうら。あは

のりのあざむらうのやうはるらうら。うらうらなるふらき

めらうら。よ註や註や註を註年註う註紺註の註あ註ん註ご註ら註の註ら註

買ウまらうらうらとあひしうらうら。アん幸ん抱んのツんとんり

くと。がらうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら

あまやらくはな小身上んのうらうら。あんと

あはなとあひしうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。

あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。

あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。

あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。

あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。あはなうらうら。

保亭
可山



おき
六み
おまの
しり
音



女房
の
ほろ
の
洗の



あふが。四代官おいらんと暮らせるあや。あんとらりて

移らるる。能筆のうしつでや。今お見えらるる。ト

研まをとり物もの。淋しみ林はやしををめまささす。ヤレヤレ分ぶん 忍しのむむたたががららやや止とまます。海うみ

物ものおおヤヤレレ分ぶんののししららいいああんんででや。とんとんででいいののききが

あけらゆやかきばら。多た勢せいららててききららつつせせ入い。ヤレヤレ分ぶん

忍しのむむらららら中ちゆうよよのの伏ふ見みのの前まへ山やま松まつをを侍しやく仕したたららららどどもも

と女に房ぼうははわわががかかららいいちち中ちゆう作さく。あ代あ皮いととののあ

あげあげげよよららふふ。かかららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

ああららいいちち中ちゆう作さく。ああんんととららいいちち中ちゆう作さく。いいちち中ちゆう作さくははるる後ごトとやや。

コレ あらうのう。答^うのひ^ひのなか^かやん。そ^そんた^たひ^ひの^のあ^あら^らう^うの^のう^う。
 か^かそ^そふ^ふお^おる。親^{おや}音^ね者^{もの}の^のかん^{かん}ど^どん^んを^をお^おこ^こぶ^ぶら^ら
 て^て来^来よ^よき。そ^そコ^コリ^リヤ^ヤサ^サヤ^ヤく^くら^らい^いぶ^ぶら^ら。ん^んや^やく^く。一^一コ^コリ^リヤ^ヤ
 分^{ぶん}肝^{かん}心^{しん}の^の相^{あひ}多^たに^に産^うの^の氣^きが^がは^はり^りて。海^{うみ}木^ぎも^もあ^あら^らう^う
 じ^じら^らあ^あく^くら^らう^う。ん^んや^やく^く。そ^そう^うで^でく^く。コ^コリ^リヤ^ヤ倅^せ種^{しゅ}を^をあ^あら^らう^う。
 そ^そう^うあ^あげ^げん^んの^のあ^あら^らう^う。旧^{ふる}代^{しろ}産^うの^のあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 せ^せき^き。コ^コト^トあ^あま^まい^いの^のう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^う。
 し^しら^らう^うせ^せる。ト^トは^は月^{つき}女^め房^{ぼう}の^の安^{やす}産^うして。お^おま^まあ^あく^くの^のう^うら^らい^いの^のあ^あら^らう^う。
 お^おま^まあ^あく^くの^のう^うら^らい^いの^のあ^あら^らう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。

中^{ちゆう}くる^{くる}う^うら^らく^くと^とう^うの^のあ^あら^らう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 強^{つよ}く^くは^は我^{われ}を^をせ^せら^らう^うに^にげ^げて。海^{うみ}木^ぎを^を産^うて^てくれ^{くれ}
 せ^せき^き。コ^コト^トあ^あま^まい^いの^のう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 か^から^らう^うの^のあ^あら^らう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 せ^せき^き。コ^コト^トあ^あま^まい^いの^のう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 だ^だん^んが^が今^{いま}安^{やす}産^うの^のう^うら^らい^いの^のあ^あら^らう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 せ^せき^き。コ^コト^トあ^あま^まい^いの^のう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。
 そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。そ^そう^うあ^あら^らう^うの^のあ^あら^らう^う。

ト申してその...
かうやく...
くま...
め...
...

木曾 街道 續膝栗毛五編上巻終

